

平成 20 年度

九頭竜ダム定期報告書(案)

平成 21 年 2 月

近畿地方整備局

～防災用語の使用について～

防災用語の中には、専門用語で用語自体の理解が難しい等の指摘があったため、国土交通省河川局に事務局を置いて「洪水等に関する防災用語改善検討会」を設置し、検討の結果、提言として「洪水等に関する防災情報体系のあり方について 平成 18 年 6 月 22 日」にとりまとめられた。

本定期報告書では、この提言による防災用語の改善後の用語・表現で整理することを基本としている。

ただし、一部の図表には改善前の用語・表現を使用した既存資料を活用しているため、下記対比表にて確認していただきたい。

【対比表】

改善前	改善後
直轄区間	国管理区間
危険水位	はん濫危険水位
特別警戒水位	避難判断水位
警戒水位	はん濫注意水位
指定水位	水防団待機水位
ただし書き操作	計画規模を超える洪水時の操作
設計洪水位	設計最高水位
サーチャージ水位	洪水時最高水位
常時満水位	平常時最高貯水位
洪水期制限水位	洪水貯留準備水位

「洪水等に関する防災情報体系のあり方について(提言)  
平成 18 年 6 月 22 日 洪水等に関する防災用語改善検討会」より

## 目 次

1. 事業の概要	
1.1 流域の概要	1- 1
1.1.1 自然環境	1- 1
1.1.2 社会環境	1- 9
1.1.3 治水と利水の歴史	1- 11
1.2 ダム建設事業の概要	1- 18
1.2.1 ダム事業の経緯	1- 18
1.2.2 事業の目的	1- 21
1.2.3 施設の概要	1- 22
1.3 管理事業の概要	1- 25
1.3.1 ダム及び貯水池の管理	1- 25
1.3.2 ダム湖利用実態	1- 30
1.3.3 下流基準地点における流況	1- 31
1.4 ダム管理体制等の概況	1- 33
1.4.1 日常の管理	1- 33
1.4.2 出水時の管理計画	1- 46
1.4.3 地震時の管理計画	1- 50
1.5 文献リスト	1- 51
2. 洪水調節	
2.1 評価の進め方	2- 1
2.1.1 評価方針	2- 1
2.1.2 評価手順	2- 1
2.1.3 必要資料（参考資料）の収集・整理	2- 1
2.2 浸水想定区域の状況	2- 2
2.2.1 浸水氾濫区域の位置	2- 2
2.3 洪水調節の状況	2- 5
2.3.1 洪水調節計画	2- 5
2.3.2 洪水調節実績	2- 7
2.3.3 洪水時の対応	2- 15
2.4 洪水調節の効果	2- 16
2.4.1 流量、水位低減効果の評価方法	2- 16
2.4.2 流量低減効果	2- 16
2.4.3 水位低減効果	2- 18
2.4.4 水防活動の低減効果	2- 20
2.5 まとめ	2- 23
2.6 文献リスト	2- 23

3. 利水計画	
3.1 評価の進め方	3- 1
3.1.1 評価方針	3- 1
3.1.2 評価手順	3- 1
3.1.3 必要資料（参考資料）の収集・整理	3- 1
3.2 利水計画	3- 2
3.2.1 貯水池運用計画	3- 2
3.2.2 利水計画の概要	3- 2
3.3 利水実績	3- 4
3.3.1 利水実績概要	3- 4
3.3.2 発電実績	3- 5
3.4 利水効果の評価	3- 6
3.4.1 副次効果(CO <sub>2</sub> 排出量削減効果)	3- 6
3.4.2 発電補給に伴う下流河川流況の変化	3- 7
3.5 まとめ	3- 8
3.6 文献リスト	3- 8
4. 堆砂	
4.1 評価の進め方	4- 1
4.1.1 評価方針	4- 1
4.1.2 評価手順	4- 1
4.1.3 必要資料（参考資料）の収集・整理	4- 1
4.2 堆砂方法の整理	4- 2
4.3 堆砂実績の整理	4- 4
4.4 堆砂傾向の評価	4- 6
4.5 まとめ	4- 10
4.6 文献リスト	4- 10
5. 水質	
5.1 評価の進め方	5- 1
5.1.1 評価方針	5- 1
5.1.2 評価手順	5- 2
5.1.3 九頭竜ダム貯水池の水質に関わる外的要因	5- 5
5.2 基本事項の整理	5- 8
5.2.1 環境基準類型指定状況の整理	5- 8
5.2.2 定期水質調査地点と対象とする水質項目	5- 11
5.2.3 定期水質調査状況の整理	5- 13
5.3 水質状況の整理	5- 16
5.3.1 水理・水文・気象特性	5- 16
5.3.2 水質の経年変化	5- 24

5.3.3	水質の経月変化	5- 41
5.3.4	貯水池内水質の鉛直分布の変化	5- 93
5.3.5	栄養塩の構成形態別変化	5-100
5.3.6	貯水池内水質縦断変化	5-103
5.3.7	植物プランクトン生息状況変化	5-105
5.3.8	底質の変化	5-109
5.3.9	水質障害発生の状況	5-113
5.4	社会環境からみた汚濁源の整理	5-115
5.4.1	流域社会環境の整理	5-115
5.4.2	流入水質の変化	5-117
5.4.3	社会環境から見た汚濁源の整理まとめ	5-123
5.5	水質の評価	5-124
5.5.1	生活環境項目の評価	5-124
5.5.2	健康項目の評価	5-137
5.5.3	水温の変化に関する評価	5-144
5.5.4	土砂による水の濁りに関する評価	5-147
5.5.5	富栄養化現象に関する評価	5-154
5.5.6	6DO に関する評価	5-164
5.5.7	水質縦断変化による貯水池の影響評価	5-169
5.6	水質保全施設の評価	5-174
5.6.1	水質保全施設の導入背景と導入計画	5-174
5.6.2	水質保全施設の設置状況の整理	5-175
5.6.3	水質保全施設の効果把握と評価	5-180
5.7	まとめ	5-182
5.8	文献リストの作成	5-184

## 6. 生物

6.1	評価の進め方	6- 1
6.1.1	評価方針	6- 1
6.1.2	評価手順	6- 3
6.1.3	対象範囲	6- 6
6.2	ダム湖及びその周辺の環境の把握	6- 30
6.2.1	環境の概況	6- 30
6.2.2	ダム湖周辺環境の概況	6- 31
6.2.3	ダム湖およびその周辺の生物の特徴	6- 35
6.3	生物の生息・生育状況の変化の検証	6- 62
6.3.1	ダム湖内における変化の検証	6- 64
6.3.2	流入河川における変化の検証	6- 98
6.3.3	下流河川における変化の検証	6-125
6.3.4	ダム湖周辺における変化の検証	6-148

6.3.5 連続性の観点からみた生物の生息・生育状況の変化の検証	6-164
6.3.6 重要種の生息・生育状況の変化の検証	6-169
6.4 生物の生息・生育状況の変化の評価	6-186
6.5 まとめ	6-199
6.5.1 生物の生息・生育状況の変化の評価と今後の方針	6-199
6.6 文献リストの作成	6-202
6.7 参考資料	6-206

## 7. 水源地域動態

7.1 水源地域の概況	7- 1
7.1.1 水源地域の概要	7- 1
7.1.2 ダムの立地条件	7- 2
7.2 ダム事業と地域社会情勢の変遷	7- 4
7.3 ダムと地域の関わりに関する評価	7- 7
7.3.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理	7- 7
7.3.2 地域とダム管理者との関わり	7- 14
7.4 ダム周辺の状況	7- 16
7.4.1 ダム周辺整備の状況	7- 16
7.4.2 ダム周辺施設の利用状況	7- 17
7.4.3 ダム及びダム周辺のイベント等の開催状況	7- 20
7.5 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果	7- 21
7.6 まとめ	7- 24
7.7 文献リスト	7- 25